

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービス やさしさいっぱい中央		公表日		令和 8年 3月 17日	
環境・体制整備	1	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
		利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7			・構成された環境設定に取り組んでいます。 ・学習室や休憩室など目的に応じたスペースを確保し、児童が安心して過ごせる環境づくりを行っています。	・活動内容に応じてスペースの確保やパーテーションの活用等に努め、活動の時間差やグループ分け等を行い、安全に活動できる環境づくりを継続していきます。
2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7		・人員配置基準に沿った職員の配置、利用児童の人数や特性を考慮し、必要に応じて職員配置を調整しながら支援を行っています。	・今後も適切な職員の配置を行い、職員間で情報共有や声掛けを行いながら、より適切な見守り体制を整えていきます。		
	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7		・はばりバリアフリーではあるが玄関入り口の僅かな段差にはつまずきガードを装着して配慮を行っています。	・今後も児童の特性に応じ、活動に合わせた環境上の配慮を行っています。 ・スケジュールや指示について視覚的に分かりやすく工夫して提示していきます。		
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	1	・日頃から整理整頓、消毒や清掃を行い清潔を保ち、活動に合わせた空間作りを心がけています。 ・活動スペースを分かりやすく整理し、児童が安心して活動できるよう配慮しています。	・ぬいぐるみや書籍等で空間を狭くしてしまっているため、職員間で定期的に整理を行い心地よく過ごせるよう改善していきます。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7		・クールダウンや周りの騒音で活動に集中できない時など必要に応じ、個別の部屋を使用したりパーテーションを使用したり配慮しています。	・利用児童の人数が多い日などは、特に配慮していきます。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7		・毎日、朝礼時に児童の振り返り・課題・改善等を行っています。必要に応じて会議を行っています。	・日々の振り返りを行い改善点や継続点を検討し目標に繋げ、朝礼に参加できない非常勤職員にも記録等で情報共有を図っていきます。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		・アンケートを継続的に実施し、保護者の意見等を職員で周知し業務改善に繋げています。	・今後も保護者の意見等を把握し、よりよい支援を行えるよう業務改善に繋げていきます。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		・毎日、朝礼時に職員の意見を周知し課題、改善等を行なっています。必要に応じて会議を行っています。	・日々の振り返りを行い改善点や継続点を検討し目標に繋げ、朝礼に参加できない非常勤職員にも記録等で情報共有を図っていきます。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	2		・外部評価については、今後必要に応じて実施を検討しています。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		・内部外部研修・オンライン研修に積極的に参加しています。	・今後も研修等に積極的に参加し、職員のスキルアップを図りながら支援の質の向上に努めます。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7		・支援プログラムHPにて公表しています。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7		・定期的な面談を通してアセスメントを行い、保護者のニーズ・児童が必要とする支援を目標に設定できる個別支援計画の作成をしています。	・定期的にあセスメント内容の見直しを行い、児童の成長や状況の変化を支援計画に反映していきます。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7		・保護者のニーズ・児童の成長状況を踏まえ、こどもの最善の利益を考慮した支援が行えるよう職員間で情報共有を行い、より適切な支援に繋がれるよう努めています。	・職員間で情報共有の時間を十分に確保し、支援内容について共通理解を図りながら、児童1人ひとりの状況を共有し、こどもの最善の利益を意識した支援方法を検討していきます。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7		・個別支援計画の内容については日々の朝礼や職員会議で共有し、支援記録を通して支援状況を共有し計画に沿った支援が行われるよう努めています。	・職員間で情報共有の時間を十分に確保し、支援内容について共通理解を図りながら、個別支援計画に沿った支援を行えるよう努めています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7		・保護者からの発達検査結果や学校からの情報等、多面的な情報を収集して支援を行っています。	・定期的に多面的な情報把握、標準化されたアセスメントツールに基づいた支援計画作成を行い、より良い支援に繋げるよう努めます。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7		・個別支援計画に『五領域』『本人支援』『家族支援』『移行支援』『地域支援』『地域連携』を組み込み、児童1人ひとりの発達段階や特性に応じた支援項目を設定しています。	・放課後等デイサービスガイドラインを確認し、ねらい及び支援内容を踏まえながら、具体的な支援内容の設定を行っています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7		・職員間でミーティングにて意見交換し、児童個々の発達や特性を考え、個別活動・集団活動プログラム作成を行っています。	・ミーティングで様々な意見を出し合いプログラム立案を行っています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	1	・児童個々の発達や特性に合わせた様々な方面での(運動・料理・工作等)個別活動・集団活動でのバラエティーにとんだ活動を職員間で意見を出し合いプログラムに取り入れています。	・職員間で意見を出し合い、SNS検索等で固定化しないよう工夫していきます。	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7		・児童の発達段階や得意・苦手を踏まえ個別活動と集団活動のバランスを調整し支援を行っています。	・個人の状況を考慮し個別活動と集団活動を適宜に組み合わせ充実させていきます。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7		・支援、活動の主となる職員が事前に(前日の朝礼やグループLINE等)他職員に活動の流れや内容説明、役割分担等を確認し情報共有しています。	・朝礼やグループLINEを活用し、当日の支援内容を全職員がしっかりと把握し、連携して支援を行えるよう努めます。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7		・日々の朝礼にて、しっかり時間を設け、前日の支援の振り返り・児童の気付き等は必ず職員間で確認し、反省点や改善点を共有しています。	・当日の支援終了後には、送迎等で振り返りの時間を勤務時間内に設けることができない為、翌日の朝礼にて行います。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		・記録した内容を職員間で共有し、児童の状況や支援方法について共通理解を図っています。	・個別支援計画の目標と日々の記録を照らし合わせ、目標に沿った支援ができていないか確認し支援の検証・改善に繋げていきます。
	23	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7		・定期的モニタリングを実施し支援結果を検証したうえで、保護者からの聞き取りも行き、適宜に個別支援計画の見直しを行っています。	・定期的モニタリングや振り返りの時間確保し検討の場を設けて適切な見直しを行っています。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	7		・『自立支援と日常生活の充実のための活動』『創作活動』『地域交流の機会の提供』『余暇の提供』を意識しながらより良い活動内容になるよう検討しています。	・4つの基本活動を意識した支援が行えるよう、職員間でガイドラインの理解を深めています。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7		・遊びの内容を複数提示したり、おやつ遊びなど日常の中で選択する機会を設け、自己決定の経験を増やし意欲に繋げています。	・意思表示が難しい児童については表情や行動などから意思を汲み取りながら支援していくよう努めます。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7		・担当者会議を行う前に、職員間で意見交換・共通理解を行い児童発達支援管理責任者が参画しています。	・児童発達支援管理責任者だけでなく、児童の支援に関わる全職員が対応していけるようにしていきます。
	27	地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7		・学校や相談支援員などの関係機関と連絡を取り合い、児童の状況について情報共有を行っています。	・今後も各関係機関との、より円滑な連携体制の構築に努めていきます。
	28	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか。	7		・週末に翌週の時間割表を確認・コピーを取りファイルして下校時刻の把握に努めています。 ・学校への送迎時や連絡帳を活用し、情報交換を行っています。	・必要に応じて学校との連絡機会を増やし、より円滑な情報共有と連携体制の強化に努めています。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7		・情報共有の必要のある児童に関しては、引継ぎシートや相談支援員を通して関係機関との相互理解に努めています。	・保護者からの情報が主となっているので、今後は児童発達支援センター等とも積極的に情報共有に努めていきます。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	3	4	・該当事例がありません。	・今後該当する事例が生じた際には移行先との連携を図りながら支援内容について円滑な情報共有を行なうよう努めます。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	2	・積極的に外部研修を受講し、様々な事業所の方や発達障がい者支援センターの方から助言を受けています。	・必要に応じて専門職(相談支援専門員・心理士等)から助言を受けられる体制づくりを進めていきたいです。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	6	1	・近隣の公園での活動を取り入れ、地域の子とも達と一緒に遊ぶ機会を設けています。	・今後も近隣公園や児童館での活動を積極的に取り入れ、目標を立てた交流機会を計画していきたいです。
	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	2	5		・協議会や研修の情報収集を行い参加できる機会を把握して、可能な範囲で参加できる体制を整えています。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7		・送迎の際や連絡帳などで日々の活動や児童の状況を伝え合い、担当者会議やモニタリングでも共通理解を持つように努めています。	・今後も送迎時、連絡帳、LINE等のツールを用いて日頃の児童の状況を伝え、担当者会議やモニタリング等でもしっかりと共通理解が持てるよう努めていきます。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	2	・連絡帳や送迎の際でのやり取りを通して、事業所での様子を丁寧に伝え、家庭の関わり方について情報共有や助言を行っている。	・プログラム作成や家族等が参加できる研修等の機会は実施できていないが、必要に応じて関係機関の情報提供なども行い、家庭への支援の充実を図っていきます。
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7		・契約書に記載し、一緒に確認していただきながら丁寧に説明を行っています。	・契約時、不明な点があればその都度丁寧に説明を行います。	
37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7		・契約時の面談の際に、保護者と児童の意思やニーズに基づき支援計画を作成し、定期的なモニタリングにて意向を確認し見直しを行っています。	・日々の関わりの中で子どもの意思や保護者の思いを把握し支援計画に反映できるように努めていきます。	
38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7		・児童発達支援管理責任者より作成時や見直しの際に面談を行い、支援の目的について丁寧に説明を行ない同意を得ています。	・面談の機会の確保をするともに、保護者からの意見や要望を支援計画に反映できるように意向確認を丁寧に行っています。	
39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7		・普段から保護者とのコミュニケーションを図り相談しやすい環境の中で面談や助言等を行っています。	・保護者からの悩み等に対する相談があれば、職員間で模索したうえで適切な回答を慎重に助言していきます。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		7	・父母会、保護者会は行っていません。	・現在、父母会の活動の運営は考えていないが、保護者の要望があれば検討していきたいと思います。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7		・苦情内容や原因をしっかりと確認し、職員間で協議を行い迅速かつ適切に対応するよう努めています。	・苦情受付窓口、解決担当を重要事項説明書に記載、契約時に説明し今後も苦情があった場合には迅速かつ適切に対応するよう努めます。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	7		・行事予定表やお知らせプリントを配布、Instagramでも活動概要や活動の様子の写真を掲示しています。	・毎月行事予定の配布、お知らせプリント、SNSにて活動概要や連絡体制等の情報を発信していきます。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7		・個人情報に記載された書類は鍵付きの書棚に保管し、情報交換を行う場合にはイニシャルを用いるなど取り扱いには十分気を付けています。	・不要になった個人情報が記載された書類などはシュレッダーを使用するなど、全職員で個人情報の取り扱いには十分気を付けます。
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7		・保護者には、その日の児童の様子を連絡帳に記入し、送迎の際にも情報伝達を行っています。 ・意思疎通の難しい児童には、絵カード等を使用するなど配慮を行っています。	・連絡帳への記入、送迎の際に口頭で伝える事が難しい場合にはLINEを使用し情報伝達を行っています。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	6		・地域住民を招待する活動等は、防犯や感染症等を考慮したうえで検討していきます。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7		・各マニュアルを策定し、職員間で内容を共有し、実際の発生を想定しながら対応方法の確認を行っています。	・各マニュアルの内容を定期的に見直し、実際の支援状況に合わせて更新していきます。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7		・業務継続計画(BCP)を作成し、定期的に研修・訓練・シミュレーションを行い職員間で周知を図っています。	・実際に避難場所まで避難し、実際に沿った災害を想定した訓練を行い、定期的に避難グッズの確認も行っていきます。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	7		・契約時に服薬状況、てんかん発作の有無など児童の健康状態について保護者へ確認を行い、対処法についても事前に確認しています。	・今後も保護者の申告に基づいて適切な対応を行います。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	1	・契約時にアレルギーの有無を確認し、申告があった場合には、おやつ提供等は注意しながら適切な対応を行っています。	・医師の指示書ではないが、今後も保護者の申告に基づいて適切な対応を行います。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7		・安全計画を作成し、職員間で安全点検、マニュアルの共有、研修や訓練を行い、安全管理を十分に行った上で支援を行います。	・毎年安全計画の見直しを行い、全職員で共有いたします。
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携を図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7		・安全計画に基づく取り組み内容についてはSNSにて家族等へ周知しています。	・よりわかりやすい周知方法を検討いたします。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7		・危険な事案が発生した場合、直ちにミーティング等で全職員で周知を行い、未然に防げる方法、再発防止策について検討しています。	・ヒヤリハット箱を設置し、定期的にミーティングを行い再発防止に努めます。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		・虐待防止委員会を設置し、内部外部研修やオンライン研修に積極的に参加しています。	・今後も虐待防止に関する研修等に積極的に参加し適切な対応に繋がっていきます。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7		・身体拘束適正化委員会を設置し、内部外部研修やオンライン研修に積極的に参加しています。	・身体拘束に関しては児童の心身の状況に応じて必要であれば計画に記載していきますが、研修等に積極的に参加し適切な対応に繋がっていきます。	